

むたおじさんのボランティアは支えあっこ

チャイルドライン支援センター代表理事牟田悌三さんに博報教育特別賞

此の度俳優の牟田悌三さんに博報教育特別賞が贈呈されることになりました。この賞は、子供たちの育成全般にわたる永年の貢献に対して財団法人博報児童教育振興会から非定期に贈られるものであり、今までに富良野国の子寮、讃井トミ子さん、俳優の宮城まり子さん、漫画家の山本おさむさんなど1団体と3個人が受賞されています。牟田さんは山本さんの受賞から6年ぶり、5人目の受賞者となりました。

牟田さんは、1975年世田谷の地元中学校のPTA会長を引き受けたことをきっかけに、子供たちが抱える数々の問題に取り組み、以来、「支えあっこ」を合言葉に、中学校での非行・暴力問題の解決糸口を探ることや健常者と障害者の集いである「障害のかきねをはずそう会」を結成するなど、次代を担う子供たちの育成に関する多岐にわたるボランティア活動を行ってきました。最近では、1998年に、24時間フリーダイヤルで子供たちから寄せられる悩みを聞く「チャイルドライン」を世田谷限定で開設し、2001年には22都道府県31団体が参加する活動まで広げています。今後、活動エリアを全国に広げ、常設化する事を目標に、現在も精力的な活動を続けています。



博報教育特別賞受賞の牟田悌三さん



第32回博報賞受賞者

(財)博報児童教育振興会は、国語教育・日本語教育部門を始め4部門において児童生徒の教育に貢献のあった個人・団体に毎年博報賞を贈呈して教育活動を支援している財団であり、博報賞の贈呈は今年で32回目になります。

牟田悌三氏の児童生徒を対象とする主なボランティア活動内容

- ・「障害のかきねをはずそう会」
- ・「夢企画あった会」発足
- ・「街角からこんにちは」開催

- ・ ネパールに小学校を建てるための資金集め
- ・ 「せたがや・こどもいのちのネットワーク」発足
- ・ 「チャイルドライン」開設

著書等

- ・ 小中学校用教材ビデオ「むたおじさんのボランティアって何だろう」
「むたおじさんのボランティアって何するの」
 - ・ 「大事なことは、ボランティアで教わった」リヨン社
 - ・ 「ボランティアへの招待」(共著)岩波書店
-